

## 平成 27 年度 施策評価シート

	作成日	H28.11.30
基本姿勢	3	にぎわいを創る「交流のしま」
政 策	3	歴史、伝統文化を守り、活かし、伝えるまちづくり
基本方針	地域の歴史と文化を大切にし、伝統、文化の保存継承に努め、郷土に対する愛着や誇りを持てる環境の整備と文化活動の支援に努めます。	

基本施策	3-3-①	歴史・文化の保存伝承	
主管課名	文化財課	所属長名	湯 川 直 基
関係課名			
	基本施策の評価		
	<p>○歴史・文化の保存・継承と有効活用、文化財愛護意識の高揚</p> <p>■平成27年度の取組概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・先人が守り育ててきた地域の伝統行事（無形民俗文化財、伝統芸能等）を継承する団体への支援と指定文化財台帳の整備、指定文化財周辺環境整備、「文化財防火デー」伴う地域と協力した消防訓練を行った。</li> </ul> <p>■評価（問題点とその要因）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・少子、高齢化により地域で歴史・文化の保存・継承を行う事が困難になっている。併せて地域に残る文化財への愛護意識が薄らいでいる。</li> </ul> <p>■今後の取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の保存・継承への支援体制の充実と新たな保存・継承システムの構築に努める。</li> </ul>		
	<p>○子どもたちへの学習機会の充実</p> <p>■平成27年度の取組概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町内小中学校へ地域学習講師派遣、歴史教室の開催、高校生修学旅行、大学生の地域学習に資料の提供を行った。</li> </ul> <p>■評価（問題点とその要因）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちへの学習機会は増えてきたが、今後継続して学べる環境の整備が必要である。（カリキュラムとの調整が必要である）</li> </ul> <p>■今後の取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教育で継続した学習機会の確保を目指していく。</li> </ul>		
	<p>○貴重な文化財の適正な保存・活用、必要に応じた修復などの適切な管理</p> <p>■平成27年度の取組概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国指定文化財、県指定文化財の適正な保存のために修復工事の支援を行った。また町指定文化財周辺整備及び案内板の修繕を行った。</li> <li>・本町出身の建築家鉄川與助氏の居宅跡を氏の功績を称える公園として活用を図った。</li> </ul> <p>■評価（問題点とその要因）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財保存修復には、多大の費用がかかり所有者の理解を得るのが難しい。</li> </ul> <p>■今後の取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・所有者への支援体制の充実と計画的な保存・修理計画の策定に努める。</li> </ul>		

<p>1 次評価</p>	<p>○展示・歴史資料の適正な収集・保存・活用と歴史・文化財に関する効果的な情報発信、学ぶ機会の提供と観光資源としての活用</p> <p>■平成27年度の取組概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鯨賓館ミュージアムを中心に歴史資料の収集、保管、展示の充実に努めた。また効果的な情報発信を行うため、最新の映像システムの導入、港ターミナル内スペースの有効活用、町民を対象としたゼミ&amp;さるく、かんころづくり体験、ストーンフェスタ等のイベントを開催した。</li> </ul> <p>■評価（問題点とその要因）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史収集、保存については、担当課だけで出来るが、活用、情報発信については、関係機関との連携が必要であるが十分図られていない。</li> </ul> <p>■今後の取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き歴史資料の収集・保存・整理に努め、資料を活用した情報発信、観光振興について町全体で取り組むシステム構築に努める。</li> </ul>
	<p>○遣唐使遺跡、古墳群、寺社、教会などの歴史や文化資源を調査し、その文化的価値を明らかにするとともに、適切な保存のあり方や活用方法を検討</p> <p>■平成27年度の取組概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町内の遣唐使遺跡が「日本遺産」に認定され、専門家による調査・研究を行い調査報告書を刊行した。</li> </ul> <p>■評価（問題点とその要因）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本遺産として新たな事業展開を図っているが財源確保が難しい。</li> </ul> <p>■今後の取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門家による調査を行い、新たな文化遺産の掘り起こしとストーリーとしてまとめ町づくりに活用する。</li> </ul>
	<p>○世界遺産登録を目指している「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」の構成資産「頭ヶ島天主堂」をはじめ、「青砂ヶ浦天主堂」や「大曾教会」、「江袋教会」など、キリスト教の伝播と復活の歴史を支える大切な資産としての保存整備の推進</p> <p>■平成27年度の取組概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界遺産候補「頭ヶ島天主堂」については、周辺環境の保全につとめ、パーク&amp;ライドの試行を行い受入体制の充実を図ってきた。他の指定文化財の教会堂については、日頃より巡回を行い、地元関係者と連携しながら文化財の保存に努めた。</li> </ul> <p>■評価（問題点とその要因）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界遺産登録目標年度が30年度に延び、構成資産の変更等に伴い、再度保存整備計画の変更が必要である。</li> </ul> <p>■今後の取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度世界遺産登録を見据えて構成資産及び関連指定文化財保存整備計画の見直しを図る。</li> </ul>
<p>2 次評価</p>	<p>平成30年の世界遺産登録実現に向けて、必要な調査、研究、公開に向けた受入体制、情報発信の体制整備や意識醸成など、県、関係市町と一体となって準備を進めていくこと。また、貴重な文化財を守り、次世代へ確実に引き継いでいくため、関係法令に基づき、文化財の指定や保護、保全のための支援を引き続き行い、文化財を活用した地域の活性化に努めていくこと。</p>

基本施策	3-3-②	芸術文化活動支援・充実	
主管課名	生涯学習課	所属長名	宇戸 佐一郎
関係課名			
1次評価	基本施策の評価		
	<p>○文化芸術に触れる機会の創出（優れた芸術文化を鑑賞する事業や町民文化祭の開催など町民参画型の文化事業の実施）</p> <p>■平成27年度の実施概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・魚目小学校において、青少年劇場を開催し文化芸術に触れる機会を提供した。</li> <li>・鯨賓館ホール、魚目中学校において、寄席を開催し芸能に触れる機会を提供した。</li> <li>・山口修コンサート、五つ星劇場を開催し生の芸術文化に触れる機会を提供した。</li> </ul> <p>■評価（問題点とその要因）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・離島であることから、生の文化芸術に触れる機会が少ない。</li> </ul> <p>■今後の取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県・その他関係団体と協力し、生の文化芸術に触れる機会を創出する。</li> </ul>		
	<p>○文化団体や自主的な芸術文化、地域伝統文化活動を活性化するための支援</p> <p>■平成27年度の実施概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町文化協会へ活動費の補助を行い、町民文化祭などを開催することで活動発表の場を提供した。</li> </ul> <p>■評価（問題点とその要因）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人口減少や、活動団体構成員の高齢化のため活動が縮小している。</li> </ul> <p>■今後の取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・継続して文化協会中心に補助をし、その他関係団体の活動も支援する。</li> </ul>		
	<p>○青少年の文化活動への参加機会の推進、文化事業を支援する人材の育成</p> <p>■平成27年度の実施概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年の文化活動の活性化を図るため、有川小学校コーラス部の活動に対し支援を行った。</li> </ul> <p>■評価（問題点とその要因）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域において文化芸術活動を充実させていくには、文化芸術活動を行う者だけでなく、文化の創り手と受け手をつなぐ役割を担う者にも優れた人材を得ることが必要である。</li> </ul> <p>■今後の取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちが自然や歴史・文化に関心を持てるプログラムを提供することで、地域の文化に目を向けてもらえるような仕組みづくりや各種団体などとの連携を進め、文化活動への支援、育成に努めていく。</li> </ul>		
2次評価	<p>各芸術、文化活動のイベント等の内容、運営方法については、住民ニーズに応じて充実させていくこと。また、子どもの頃から伝統文化や芸術文化に親しむことができる事業についても充実させ、より多くの子ども達へ芸術文化に触れられる機会を提供し、興味関心を高めてもらい、次世代を担う人材育成につなげていくこと。</p>		

基本施策	3-3-③	文化的景観の整備・活用の推進		
主管課名	文化財課	所属長名	湯川直基	
関係課名				
1次評価	基本施策の評価			
	<p>○地域の特性を活かした景観まちづくりの推進（象徴的な建造物の保存やその周辺の良い景観の保全及び創出）</p> <p>■平成27年度の取組概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・集落景観の阻害要因となっている空き家を有効活用するため、地域の拠点施設となるインフォメーションセンターの整備を行った。</li> </ul> <p>■評価（問題点とその要因）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家の整備するにあたり、基本設計を実施した。</li> </ul> <p>■今後の取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年度に実施設計、平成29年度に整備工事を行い、平成30年度に文化的景観インフォメーションセンターを開設する。運営にあたっては、地域住民に参画してもらうため、地域説明会や意見交換会を実施する。</li> </ul>			
2次評価	○重要文化的景観の適正な保存と整備活用			
	<p>■平成27年度の取組概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・重要文化的景観の適正な保存と整備を行うため、文化的景観整備活用計画を基に文化的景観整備活用委員会を中心に協議・検討を行った。また、選定区域内での事業を実施する場合は、実施主体と文化財課で協議を行い、景観に配慮した事業の推進を行った。</li> </ul> <p>■評価（問題点とその要因）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化的景観整備活用計画に記載されている届出行為及び景観形成基準に基づき、事前に実施主体と文化財課と協議を行うことで、景観に配慮した事業の推進を図っている。</li> </ul> <p>■今後の取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化的景観区域内で実施する事業については、景観に配慮した事業の推進を行うため、関係課、関係団体に周知を行うことで事前把握を行い、理解を得ながら事業の推進に努めていく。</li> </ul>			
2次評価	重要文化的景観選定区域である「北魚目の文化的景観」「崎浦の五島石集落景観」の保護と歴史・文化の価値を伝えていくための情報発信や活動の支援など、地域住民、関係団体と連携して賑わいと交流を育むことができる景観づくりに取り組んでいくこと。また、町全域の景観保全については、町景観計画の基本理念に沿って、引き続き、計画の目標に向け、関係団体と連携しながら推進に努めていくこと。			

#### 成果指標等の達成状況

指標名		基準値	H27	H28	H29	H30	H31
文化財の整備・保存数	目標	-	-	3箇所	4箇所	4箇所	5箇所
	実績	3箇所	3箇所	-	-	-	-
	達成率	-	0% (0%)	-	-	-	-
民俗芸能団体の組織化	目標	-	-	-	1団体	1団体	1団体
	実績	-	0団体	-	-	-	-
	達成率	-	0% (0%)	-	-	-	-
町民主導による音楽祭の開催	目標	-	-	-	-	-	1回
	実績	-	0回	-	-	-	-
	達成率	-	0% (0%)	-	-	-	-

施策事業の進捗状況

3-3-① 歴史・文化の保存伝承

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成27年度	平成28年度	
1	<p>(事業名) 指定無形文化財保存会活動費補助事業</p> <p>【文化財課】</p> <p>(事業目的) 町内に残る伝統文化を町の宝としていくために、指定無形文化財の継承、保存を図ることを目的としている。</p> <p>(事業概要) 指定無形文化財保存会へ活動費を補助し、支援を行う。</p> <p>町指定無形文化財 1.青方念仏踊り 2.青方石づき唄 3.みんかけ 4.鯨唄・羽差し踊り 5.鯛ノ浦薙刀踊り 6.十七日祭り 7.江ノ浜念仏踊り 国指定無形民俗文化財 1.五島神楽(上五島神楽) 郷土芸能団体 1.若松亥の子保存会</p>	実施年度	平成17年度～		
		成果指標	伝統芸能(無形文化財)の記録保存件数		
		目標値	9		
		実績値	0		
		達成率	0%		
		決算(見込)額	1,112千円		
		当該年度執行率	96%		
		成果指標及び目標値の説明	総合戦略において、伝統芸能(無形文化財)の記録保存件数を5年間で9件にすることとしており、保存会活動の活性化を促すことにより、保存・伝承団体の減少を防ぐ。		
		取組実績、成果・課題等	<p>(取組実績)</p> <p>町指定民俗文化財及び郷土芸能団体への活動費を助成した。町指定無形文化財5団体(青方念仏踊り48千円、鯛ノ浦薙刀踊り35千円、十七日祭り850千円、江ノ浜念仏踊り35千円、上五島神楽114千円)郷土芸能保存会1団体(若松亥の子保存会30千円)</p> <p>(成果・課題等)</p> <p>多くの団体が町補助金と郷や地域住民からの助成等で活動を行っているのが現状である。自己資金に乏しいため、突発的な事業には対応できていない。</p>	<p>(取組実績)</p> <p>(成果・課題等)</p>	
		2	<p>(事業名) 鉄川與助居宅跡整備事業</p> <p>【文化財課】</p> <p>(事業目的) 生涯を教会建築と歩んだ鉄川與助氏の功績を讃え、多くの人に伝え、後世に残すために居宅跡に看板を設置するなどの整備を行い公園化する。</p> <p>(事業概要) 鉄川與助の功績を称えるため、居宅跡に看板等を設置する。 ・敷地の整備 1.0式 ・煉瓦塀の修復 1.0式 ・説明板の設置 5基</p>	実施年度	平成27年度
成果指標	事業進捗率(%)				
目標値	100%				
実績値	100%				
達成率	100%				
決算(見込)額	8,665千円				
当該年度執行率	100%				
成果指標及び目標値の説明	事業が完了することにより次期計画について事業実施の必要性が図られるため、事業進捗率を目標値とした。				
取組実績、成果・課題等	<p>(取組実績)</p> <p>計画通り整備を行った。</p> <p>(成果・課題等)</p> <p>ジャンボタクシーやレンタカーでの小人数の観光客が訪れるようになったが、居宅跡の公園だけでは多くの観光客をよびこむことは難しいと考える。</p>			<p>(取組実績)</p> <p>(成果・課題等)</p>	

3-3-② 芸術文化活動支援・充実

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成27年度	平成28年度
1	<p>(事業名) 文化振興委託事業 【生涯学習課】</p> <p>(事業目的) 町内の文化活動の推進を図るため、住民が企画・立案・実施できる機会を設け、住民参加型の文化活動の推進を図るとともに、生の芸術に触れることにより、豊かな情操教育並びに、住民の生活に潤いを感じられるような文化の提供を行う。</p> <p>(事業概要) 文化事業の推進を図るため、こども芸術劇場、青少年劇場の公演や文化委託事業を実施</p>	実施年度	平成17年度～	
		成果指標	民間主導による音楽祭の開催	
		目標値	1回	
		実績値	0回	
		達成率	0%	
		決算(見込)額	2,192千円	
		当該年度執行率	100%	
		成果指標及び目標値の説明	総合計画の成果指標として設定している。	
取組実績、成果・課題等	<p>(取組実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・劇団たんぼぼ「赤ガラス大明神」公演</li> <li>・五つ星☆子ども劇場「ぼくピンチなんです!」公演</li> <li>・笑いで町おこし「新上五島町寄席」公演</li> <li>・学校寄席(魚目中)</li> <li>・山口修&amp;純子コンサート(上郷小、旧新魚目児童館)</li> </ul> <p>(成果・課題等)</p> <p>住民主導で開催してもらうために、関係者等の意見とニーズを反映し事業を行っていく必要がある。</p>	<p>(取組実績)</p> <p>(成果・課題等)</p>		

3-3-③ 文化的景観の整備・活用の推進

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成27年度	平成28年度
1	<p>(事業名) 世界遺産登録事業 【文化財課】</p> <p>(事業目的) 長崎・熊本県及び関係6市2町が共同で「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」の2016年の世界文化遺産登録を目指すことで、資産の歴史的文化的な価値を後世へ継承するための万全な保護体制の整備や全世界への情報発信及び交流人口の拡大による地域活性化に繋げる。</p> <p>(事業概要) 「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」の世界文化遺産登録を目指し、構成資産に含まれている「頭ヶ島天主堂」の歴史的文化的な価値付けと保存体制及び来訪者受入れ体制の整備を行い、世界文化遺産へ登録する。</p> <p>※平成28年2月にイコモスの指摘を受け、推薦を取り下げたことによる推薦書見直しの影響で、構成資産も見直すこととなった。(構成資産名称が「頭ヶ島の集落」に変更)</p>	実施年度	平成20年度～	
		成果指標	世界遺産登録資産数	
		目標値	1件	
		実績値	0件	
		達成率	0%	
		決算(見込)額	14,527千円	
		当該年度執行率	100%	
		成果指標及び目標値の説明	平成30年の世界遺産登録を目指す。	
取組実績、成果・課題等	<p>(取組実績)</p> <p>「長崎の教会群」の推薦書作成、頭ヶ島天主堂の保存管理計画策定、歴史的文化的な価値付けのための調査、秩序ある教会堂の公開のための保全員配置、全国へ向けた情報発信。</p> <p>(成果・課題等)</p> <p>平成28年7月の世界遺産委員会で登録の可否が審議される予定であったが、イコモスの指摘により国が推薦を取り下げ、再度推薦書の見直しを行うこととなった。</p>	<p>(取組実績)</p> <p>(成果・課題等)</p>		

3-3-③ 文化的景観の整備・活用の推進（つづき）

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成27年度	平成28年度
2	<p>(事業名) 祈りの島インフォメーションセンター設置事業 【文化財課】</p> <p>(事業目的) 平成28年7月の世界遺産登録を見据え、「長崎の教会群」の歴史的文化的な価値を正確に伝え、将来に向けて適切な保存・活用を図るため上五島空港ターミナルを活用し”長崎の教会群”サテライト整備を行う。</p> <p>(事業概要) 上五島空港ターミナルを改修し、”長崎の教会群”サテライトとしての施設整備、展示、案内等を行う。  ※平成28年7月の世界遺産登録を見据え”長崎の教会群”サテライトを設置したものの、イコモスの指摘を受け平成28年2月に国が推薦を取り下げたため、登録が先送りとなった。そのため、祈りの島インフォメーションセンターとして重要文化的景観をメインに展示・案内する方向性で進むこととなった。</p>	実施年度	平成27年度～	
		成果指標	事業進捗率（％）	
		目標値	100%	
		実績値	100%	
		達成率	100%	
		決算（見込）額	7,453千円	
		当該年度執行率	100%	
		成果指標及び目標値の説明	事業が完了することにより「長崎の教会群」の価値を来訪者へ正確に伝えていくための基盤整備が図られるため、事業進捗率を目標値とした。	
取組実績、成果・課題等	<p>(取組実績) 計画どおり設置した。</p> <p>(成果・課題等) 世界遺産のサテライトとして設置したが、世界遺産登録が先送りとなったため、当分の間名称を変更し運用することとなった。</p>	<p>(取組実績)</p> <p>(成果・課題等)</p>		
3	<p>(事業名) 日本遺産魅力発信推進事業 【文化財課】</p> <p>(事業目的) 平成27年4月24日に認定された日本遺産「国境の島 壱岐・対馬・五島」を活用して、新上五島町の新たな観光資源として魅力情報発信を行っていく。</p> <p>(事業概要) ・日本遺産関連資産（山王山と遣唐使関連史跡）の研究と報告書作成 ・日本遺産ルートサインの整備 ・日本遺産に関する情報発信及びツアー開催等による観光客の誘致  経費については、日本遺産「国境の島」推進協議会・新上五島町部会において支出している。</p>	実施年度	平成27年度～	
		成果指標	観光客延数（年間）	
		目標値	287,000人	
		実績値	273,545人	
		達成率	95.3%	
		決算（見込）額	1,860千円	
		当該年度執行率	100%	
		成果指標及び目標値の説明	総合戦略において、本事業を含む観光振興事業等を実施することで、観光客延数【年間】を242,078人（H26）から5年間で287,000人にすることを重要業績評価指標（KPI）として設定している。	
取組実績、成果・課題等	<p>(取組実績) ・有識者による「日本遺産」関連史跡の調査報告書「五島海道」の発刊200冊 ・各史跡ごとに日本遺産ルートサインの設置6基 ※日本遺産「国境の島」推進協議会で実施（町の支出額はなし）</p> <p>(成果・課題等) 世界文化遺産と比べて「日本遺産」の認知度が低いため、まずは町民の認知度向上が必要である、そのためにも町民向けの「日本遺産」講演会や歴史散策ツアーを開催して、町民の認知度アップを目指し、そこから観光客の誘致に繋げていく。</p>	<p>(取組実績)</p> <p>(成果・課題等)</p>		